

春光懇話会会報 *Wave21*

2021.2

No. 175



<http://www.shunko.jp>



トップ・インタビュー

春光会23社の社長にご登場いただき、ご自身のプロフィールを語っていただきます。生い立ち、お若い頃の思い出、会社生活のこと等々、いろいろとお伺い致します。今回はUDトラックス酒巻社長にインタビューさせていただきました。よろしくお願い致します。

UDトラックス 社長 酒巻 孝光

生年月日	1955(昭和30)年8月14日
出身地	神奈川県
出 身 校	早稲田大学理工学部機械工学科
略 歴	1980年 日産ディーゼル工業 (現UDトラックス)入社
	2008年 Volvo Powertrain Japan 生産技術担当部長
	2011年 Volvo Powertrain Operations Japan バイスプレジデント
	2012年 GTO Powertrain Production Japan バイスプレジデント
	2016年 オペレーションズ シニアバイスプレジデント
	2018年 UDトラックス代表取締役社長 兼オペレーションズ シニアバイスプレジデント
趣 味	ジョギング

—ご出身は埼玉と伺っています。

戸籍上は埼玉になっていますが、生まれたのは川崎市です。父が銀行員で転勤が多く小学生のときに3回、中学生の時に1回、転校しました。最終的に中学2年生の2学期ぐらいのときに、埼玉県に落ち着きました。転校が多かったのは本当に嫌でしたが、そのおかげで集団生活にすぐなじめるような振る舞いが身についたかもしれません。

その後、男子校の川越高校に入り、高校生活はバスケット部の活動に集中していました。土日も含めてよく練習していましたね。3年生のときはキャブテンとして関東大会を目指しましたが、残念ながら行けませんでした。合宿などは大変厳しかったですが、その時の仲間とは今でもつき合っていますし、振り返ればいい思い出となっています。

—大学では機械工学を専攻されました。

大学は早稲田大学の理工学部です。父は機械いじりが好きだったので、よく手伝いました。車のボンネットを開けてエンジン部品を外して、調整、清掃をしていました。その影響も少しが機械工学系に進み、自然な流れで自動車会社の就職を目指しました。地元の埼玉県内の企業を希望して最初にUDトラックス（当時の日産ディーゼル工業）を受けたら、当時の役員に面接の中で、「今ここで決めなさい」と説得されて、決めてしまいました。

—会社に入られた後の配属は。

生産技術部隊に配属になりました。エンジン開発を希望していたので、希望がかなわずショックを受けました。しかし、たまたま配属されたのが大型トラック用エンジンの生産技術で、エンジンに携わる仕事ができたのはよかったと思いました。そこでは物づくりにおける現場の大切さを現場か

聞き手…春光懇話会新野事務局長

わってきたと思います。今では年齢、性別に関わらず実力があればマネージャーに抜擢されます。本人の希望があれば新しい可能性にチャレンジできる会社になってきたと思っています。

—ジョブ型雇用制度を採用されていますね。

昨今、日本もジョブ型雇用へのシフトが議論されるようになりました。将来、グローバル化はさらに進んでゆくと思います。そうなったときに、日本だけではなく、国を超えてグローバルな市場で活動を展開するためにはやはりグローバルで広く採用されているジョブ型雇用制度にシフトしなくてはいけないと思います。

—人材の多様化も進んでいるようですね。

もう一つ、カルチャーギャップを感じたのは、ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)の取り組みでした。既に取り組みを開始してから10年以上が経過し、D&I週間の設定、講演会など様々なイベントを行い、UDトラックスにもこのD&I文化がずいぶん浸透してきました。ところが当初は、生産部門では職場に女性従業員が非常に少なく、ボルボが日本の工場を視察すると、「女性はどこにいるの?」と聞かれました。ボルボの工場は、大型トラックの生産ラインの中に女性の作業員やリーダーの方が多くいて、女性のエンジニアが工場案内もしてくれます。その差を見ると、世の中は男女がほぼ均等なのに、男性だけが職場を占有しているとしたら、私たちはまだ充分に女性の力を活用できていないのではないかと思うようになりました。この分野では今でもまだ改善を続けています。

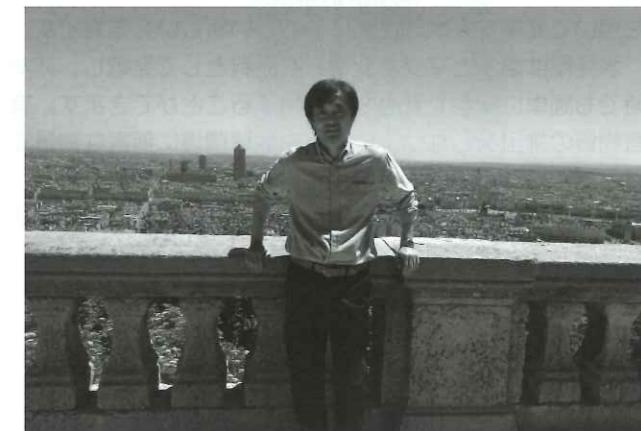
—ほかに決定的に違うと感じた点は。

ある計画をする際、物事を考える順序、アプローチの仕方が違いました。ボルボでは何かを計画する際は、まず目標到達地点、あるべき姿の論議を徹底的に行います。当たり前のように見えますが、このプロセスについて、我々はまだ弱く、改善すべきところがあると思います。今まで長い間進めてきた仕事のやり方やマインドを変えることは簡単ではありませんが、先々を見たときに、会社の戦略的な発想、戦略思考の観点からは、このようなアプローチはとても参考になりました。

—仕事を離れたリフレッシュは。

リフレッシュはとても大事だと思います。私もリフレッシュのやり方が上手だとは思っていませんが、心掛けているのは、心と体のバランスです。頭がいっぱいになると、ジムやランニングなどでより多く体を動かすように気を付けています。体

◀新入社員時代



▲フランスのリヨン出張時に撮影。有名なノートルダム大聖堂にて(2013年6月13日)を動かすと早く眠りにつくことができ、次の活力維持につながります。

心と体のバランスを意識して、十分な睡眠をとることが私なりのリフレッシュの方法です。

—最後に、若い人たちにメッセージを。

若いときには失敗を恐れずチャレンジしてほしい、といつも言っています。同じことをずっとやっているのであれば、あえて違ったことにチャレンジしてはどうでしょうか。“変える”ということから多くの学びや成長の機会を得ることができます。チャレンジすることが結果的に失敗に終わることがあるかもしれません。しかし、若い時には失敗から学ぶこともあります。同じ失敗を繰り返さないために、振り返ることが自分自身の成長につながります。チャンスが生まれます。チャンス、チャンス、チャレンジ、この頭文字をとった「3C」のキーワードを仕事に取り組む姿勢としてよく使っています。

そして、もう一つ、みなさんは一人じゃないということ。会社組織ですから、仲間がいるし、もちろん先輩や後輩もいます。周囲の人たちとの人間関係を築くことは社会人として将来大きな財産になるはずです。周囲の人から貴重なアドバイスをもらえるようなコミュニケーションを心掛けてください。それは4つ目のCかもしれませんね。

新製品・新商品 紹介

日精

日精は、国連が提唱する持続可能な開発目標「SDGs」に賛同します

日精ではSDGsへの取り組みとして「水発電機ENECLTRON」の販売を開始いたしました。

ENECLTRONは水発電技術と呼ばれる新しい発電技術を用いて発電する地球と人にやさしい新しい発電機です。

水発電は塩水とマグネシウムを原料として発電し、非常時でも簡単に安全で安心して使用することができます。有害物質の排出をしない上に原料も地球環境に無害な物質であるため、非常に環境にやさしい製品となっております。

ENECLTRONの技術は、2020年8月27日から3日間、衆議院国際会議会館で開催され、全世界へもネット配信された、第二回世界環境サミットに於いて準グランプリを受賞いたしました。

電気インフラのない貧困地域への電力源にもなり、クリーンエネルギーでもある水発電技術はまさにSDGsのテーマに適した製品となっております。

特長

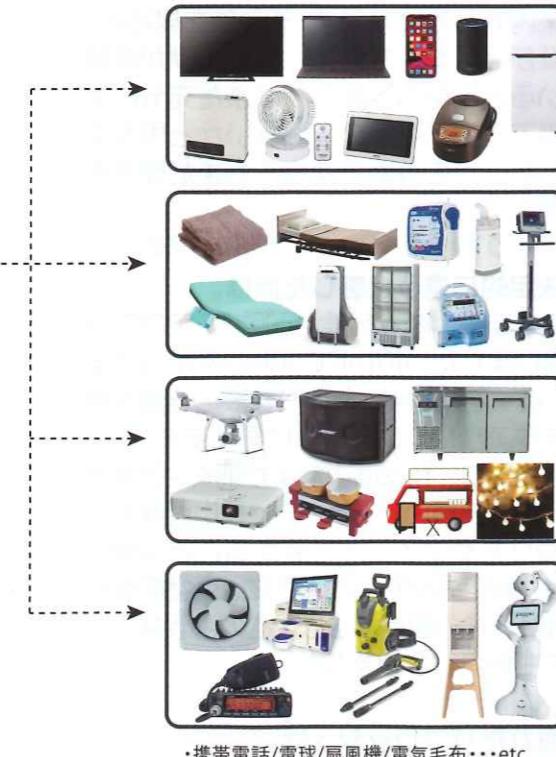
- ・塩水（約2.5L）で、約80時間の電力供給が可能。（スマートで約500台分の充電可）
- ・炭酸ガスを発生しないので、密閉された空間でも安全。（避難所）
- ・使い捨てではなく、消耗品であるマグネシウムプレートを交換することで繰り返し使用することができます。

問合先 ☎03(3502)9547産業機械部 高鍋
sanki_information@nissei.co.jp

ENECLTRONがあらゆるデバイスに命を吹き込む
ご利用頂ける家電製品は様々。



ENECLTRON



・携帯電話/電球/扇風機/電気毛布...etc

日立造船

室内浮遊ウイルス対策 「深紫外線LED空気殺菌機」を新発売

当社は、2020年11月、高い殺菌効果を持つ深紫外線によりウイルスを殺菌・不活化する業務用の空気殺菌機を発売を開始しました。本機は一般の空気清浄機では困難な短時間での空間殺菌が可能で、ウイルスを殺菌する能力は最大風量において、100m²に対し、40分での高速処理を実現しております。

■製品概要

昨今、多くの人が集まる空間では感染対策が欠かせない中、病院、公共施設、保育所・幼稚園、学校、緊急避難場所などを対象とした業務用の空気殺菌機です。

本機は空気をファンで吸込み、深紫外線LEDを照射することで、空気中の微生物や病原性ウイルスを殺菌・不活化させます。当社は深紫外線LEDで、インフルエンザウイルスをはじめとした紫外線耐性の高いウイルスについて不活化の実証結果を得ておらず、新型コロナウイルスに対しても不活化が見込まれます。さらに、日常生活で警戒されている各種病原性ウイルスについても大学と共同研究し検証を進めております。



■特長

- ①性能：特別仕様は高出力深紫外線LEDのみでのウイルス不活化、標準仕様ではウイルスを不活化・捕集し、外部に排出させない2重構造

資料請求はこちら→



- ②使い易さ：長寿命LEDを採用し、約2年間の24時間連続稼働が可能
- ③安全性：オゾンガスなどの有毒ガスは不発生

問合先 機械事業本部 システム機械ビジネスユニット
システム機械営業部 ☎06(6551)9148

日産車体

2020年10月12日発売 デザイン一新、先進安全技術を拡充 「エルグランド」マイナーチェンジ

当社が生産するエルグランドは、1997年の発売以来、ゆとりある車内空間と高級セダンの内装を併せ持った「プレミアムミニバン」のパイオニアとして、日本に新たな市場を作りました。3代目となる現行車では、ロー&ワイドなプロポーションと低重心プラットフォームにより、ミニバンのイメージを覆す操縦安定性と走りを実現し、お客様の好評を得ています。

今回のマイナーチェンジでは、デザインを一新すると共に、車両の全方向から運転をサポートする360°セーフティアシストを全車標準装備とするなど、先進安全技術を拡充させました。

エクステリアデザインでは、フロントグリルを繊細な網目模様に作り込み、精悍なフロントマスクに仕上げました。ボディーカラーは、真紅のディープクリムゾン×ミッドナイトブラックの2トーンカラーの他、新色5種をラインアップしています。一方インテリアでは、インストルメントパネルに広がりをもたせ、中央には高輝度ピアノブラックの加飾パーツでまとめた10インチ大型ディスプレイを採用しています。

安全装備については、前方を走行する2台前の車両を検知し、警報でドライバーに注意を促す「インテリジェントFCW（前方衝突予測警報）」をはじめ、最高車速標識と一時停止標識を検知する機能なども追加しています。



エルグランドは多彩な先進安全装備で「サポカーSワイド」に該当しています

問合先 ☎0463(21)8001



そろそろ結婚をとお考えのみなさま
結婚適齢期のご家族をお持ちのみなさまへ



春光懇話会ファミリークラブ

春光グループのみなさまの“結婚相談所”です

- 入会手続きは簡単です。まずは資料請求を!!
- 春光懇話会ホームページにアクセスしてみてください。



安心できる出会いを提供します。

安心その1

運営は、春光会とそのグループ会社で構成する春光懇話会です。

安心その2

会員を春光グループに関わる方に限定しています。

安心その3

春光グループ各社からの維持会費で運営していますので、会員個人の負担は、入会時の1万円と成約時の7万円です。

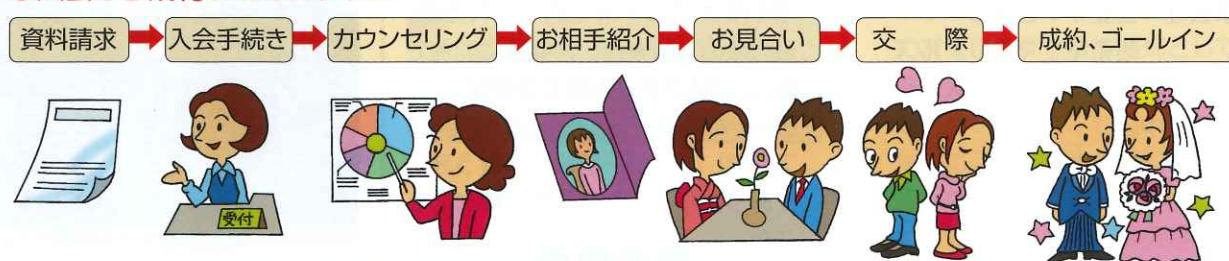
安心その4

資金面などで各社との関係は密接ですが、会員個人のプライバシーは絶対厳守です。当然、会社にお知らせすることは一切ありません。

安心その5

入会から、お相手の紹介、お引合せ(お見合い)、交際、結婚のご意志確認まで、女性カウンセラーが、会員の意思を尊重しながら、親身になってお手伝いします。

●入会から成約までのステップ



春光懇話会ファミリークラブの
ポスターとリーフレットが
新しくなりました。

春光懇話会 ファミリークラブ

〒160-8330 新宿区西新宿2-2-1
京王プラザホテル南館9階

TEL&FAX 03(3344)0410
www.shunko.jp/family/family.html

営業日時 火曜日を除く平日および土・日曜日
午前10時～午後5時

休 日 火曜日と土・日曜日以外の祝日



- 春光懇話会ファミリークラブは、春光会23社とそのグループ会社106社が支えています。

歴史の残る町、堺市

当社堺工場は、大型船舶を建造する工場として、1965年に大阪府堺市で操業を開始しました。現在は、インフラの整備や防災にかかる産業機械・大型の鉄鋼建造物を手がけており、まちづくりや安全・安心な社会の実現に貢献しています。

堺市を南北に走る大道筋は、かつて大阪と和歌山を結んでいた旧紀州街道にあたります。道幅は約50メートルもあり、中央には路面電車（阪堺電気軌道株式会社）が走ります。当社は1943年まで大阪鉄工所という社名でしたが、実はその大阪鉄工所時代に鉄道車両を生産していた時期があり（1937年に日立製作所へ移管）、阪堺電気軌道様にも車両も納入しました。当時の車両は既に引退し、現在は堺の町を走っていませんが、このほど、同社より1930年製の車両を譲り受け、本社（大阪市住之江区）に展示することになりました。

大道筋の通りの近くには、北から、江戸時代初期の町屋で重要文化財にも指定されている山口家

住宅跡や、与謝野晶子生家跡、千利休屋敷跡など堺の名所が並んでいます。名所をたどりながら歩いていると、堺の町が碁盤の目に区画されていることがよくわかります。これは、昔の環濠都市に由来するものです。

戦国時代に貿易都市として栄えた堺は、「会合衆」と呼ばれる有力商人が戦乱から町をまもり自治を行うため、町のまわりに堀をめぐらせた環濠都市を形成していました。1615年、大坂夏の陣による火災で堺の町は焼け野原となってしまいますが、徳川幕府のもと再び濠を掘り直し、碁盤の目状に道路の整備された新たな環濠都市へと生まれ変わりました。この再整備は「元和の町割り」と呼ばれ現在の堺の町の基礎になっています。

環濠都市のなごりの残る歴史ある堺市で、堺工場は、これからも私たちの生活を支える製品をつくり、世の中に貢献していきます。



路面電車



山口家住宅跡



千利休屋敷跡



堺工場

日立造船 堺工場 大阪府堺市西区築港新町1-5-1 ☎072(243)6801